

5 - 3 東海地方における地震活動の変化

Change of Seismic Activity in the Tokai District

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division Japan Meteorological Agency

第1図は東海地方における最近5年間のM3.0以上、深さ60km以浅の地震活動の変化を示したもので、また第2図は1996年1月からM2以上の地震活動を見たものである。これらの図に示したA,B,Cの3域の地震活動に見られる主な変化は次の通りである。

A領域：1997年に入ってから、北端の領域で地震活動が停滞しているように見える。5月23日に発生したM5.9の遠州灘の地震は、時空間分布を見ても、孤立して発生していることがわかる。また、3月16日の愛知県東部地震の発生前に、1997年の始め頃から地震活動が低下していた様子が見えるが、遠州灘の地震に関しては、そのような変化は見られない(第2図)。この領域全体の地震回数からは、愛知県東部の地震発生以後、地震活動が元に戻ってきているようにも見えるが、地震回数の積算曲線の勾配は、1996年よりはまだ緩い(第2図)。

B領域：9月26日および10月11日の御前崎沖の地震活動があったため、地震回数は増加傾向にあるが、全体的には今年の初め頃から静かな状態が続いている(第2図)。1997年5月～10月の期間に、B領域で発生したM3以上の地震は7個で、1989年からの累計は102個である*1)。

C領域：新島・神津島付近では、1996年末から、M3を越えるような集中的な地震活動があまり発生していない。1997年3月の伊豆半島東方沖の活動を除くと、この領域では全体的に活動が停滞している。また、1995年の八丈島西方沖の地震活動から、活動が次第に北上したようにも見える(第1図)。

参 考 文 献

1) 気象庁地震予知情報課：東海地方における地震活動の変化，連絡会報，58(1997)，320-326。

*1) これら7個の地震は以下の通り。1989年7月から1997年4月までの地震は、連絡会報第44～58巻「東海地方における地震活動の変化」の末尾に掲載。

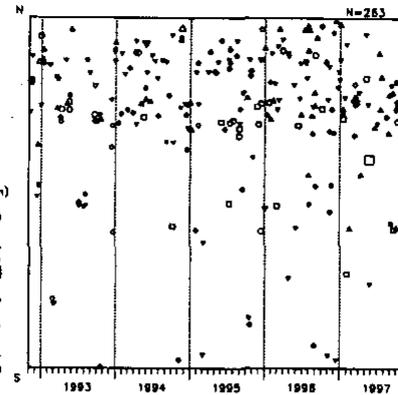
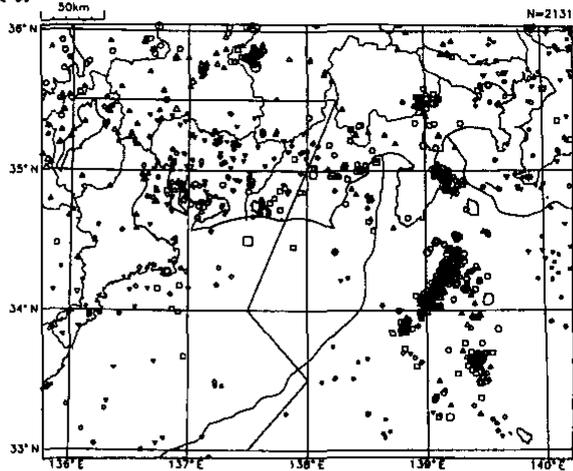
No.	年	月	日	時	分	M	深さ	最大震度	地域
96	1997	5	7	19	25	3.0	29.8		駿河湾南方
97		7	2	22	04	3.1	20.4		駿河湾
98		7	5	15	27	3.9	25.0	2	静岡県中部
99		9	26	23	12	4.0	34.9	1	遠州灘
100		10	11	14	44	4.9	35.7	3	遠州灘
101		10	21	19	55	4.3	33.0	2	静岡県中部
102		10	31	14	59	3.0	33.0		遠州灘

東海地方における地震活動の変化—1992年11月1日～1997年11月6日 $M \geq 3.0$ depth 0-60km

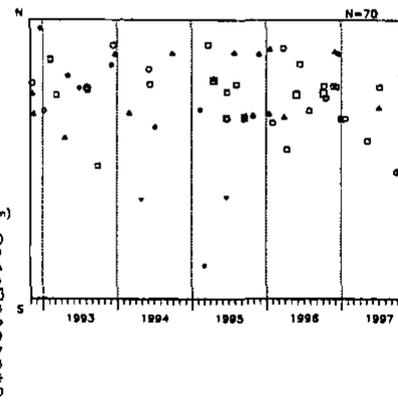
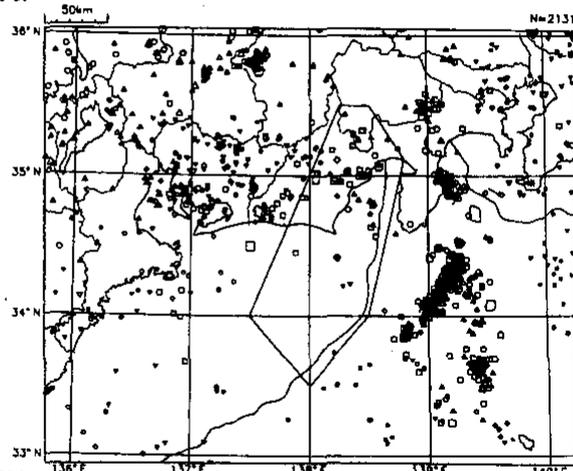
①震央分布図

②時空間分布図

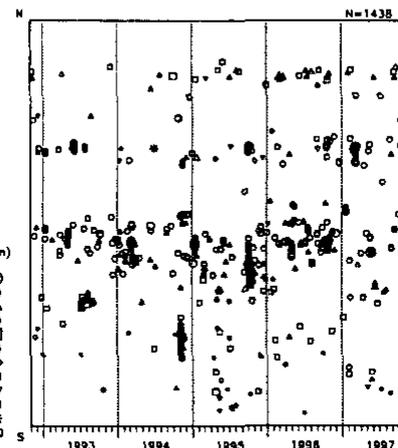
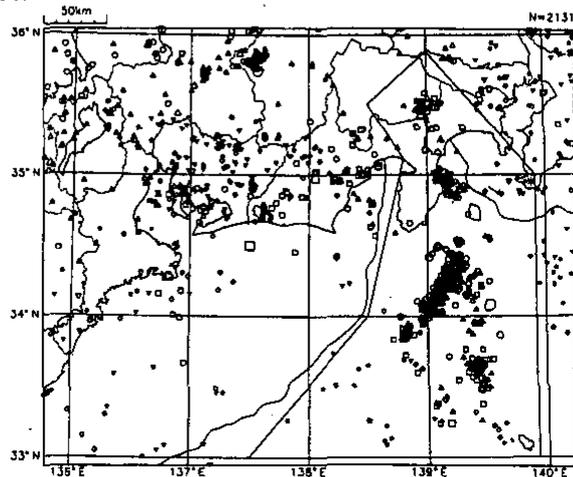
A 領域



B 領域



C 領域

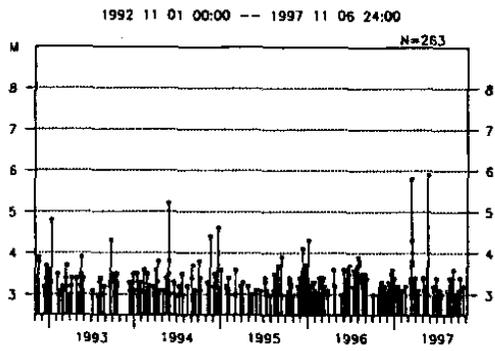


第1図 東海地方のA,B,C領域における最近5年間の地震活動(1992年5月1日～1997年4月30日: $M3.0$ 以上, 深さ60km以浅)。震央分布, 時空間分布, M-T図, 地震回数積算図。

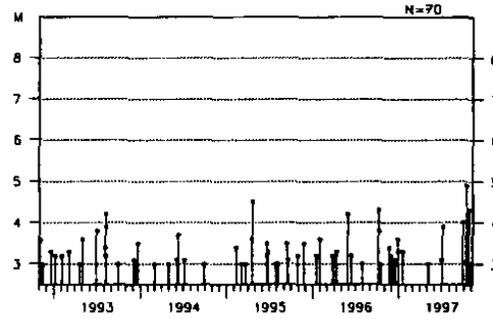
Fig.1 Seismic Activity in the A,B,C regions in the Tokai District during 5 years (May 1, 1992-April, 1997: $M \geq 3.0$, depth ≤ 60 km). : Epicentral distribution, : space-time plot, : M-T diagram, : cumulative number of earthquakes.

③M-T図

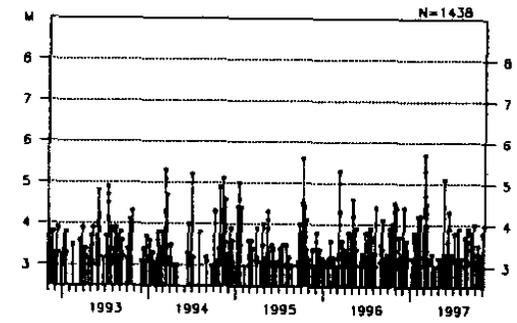
A 領域



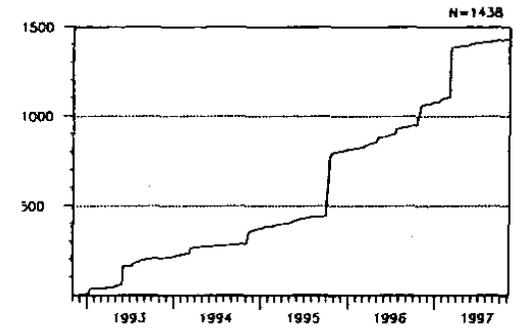
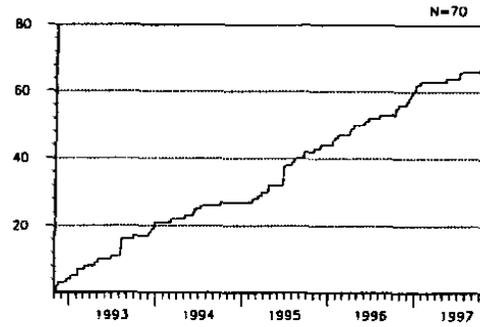
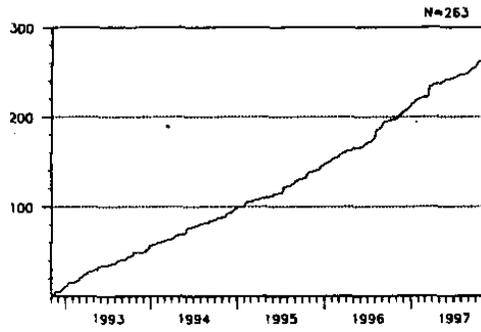
B 領域



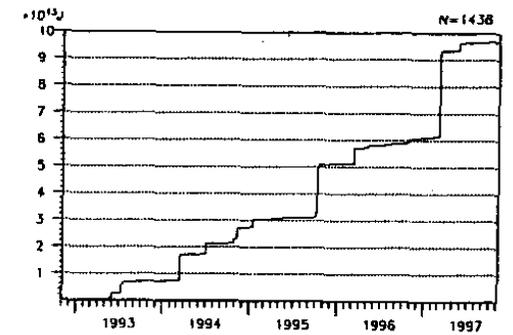
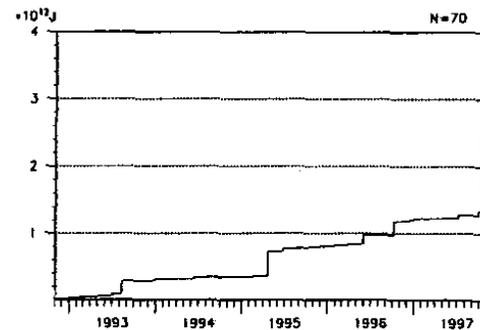
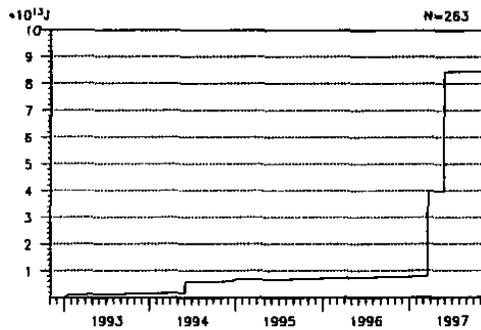
C 領域



④回数積算図



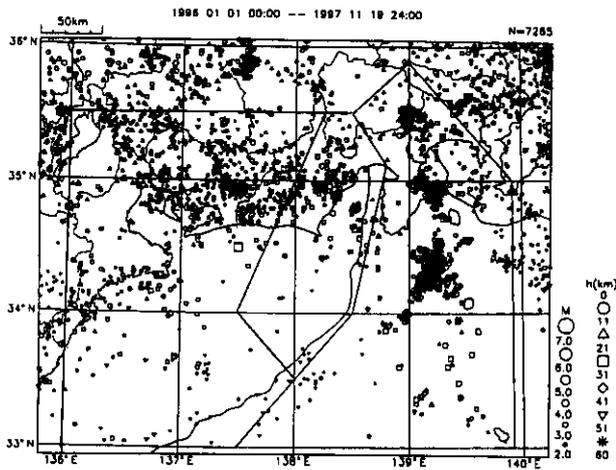
⑤エネルギー積算図



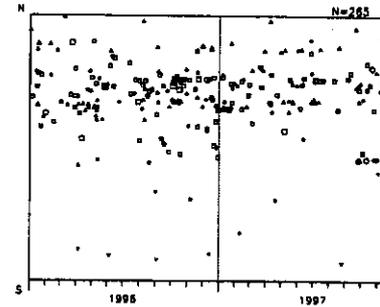
第1図 つづき

Fig.1 Continued.

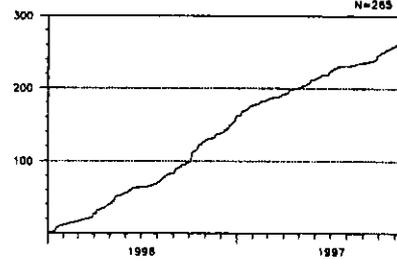
東海地方における地震活動の変化 1996年1月1日～1997年11月19日 $M \geq 2.0$ depth 0-60km
震央分布図



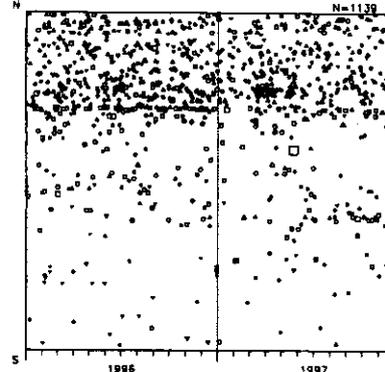
領域
時空間分布



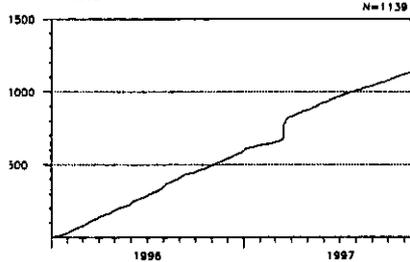
回数積算図



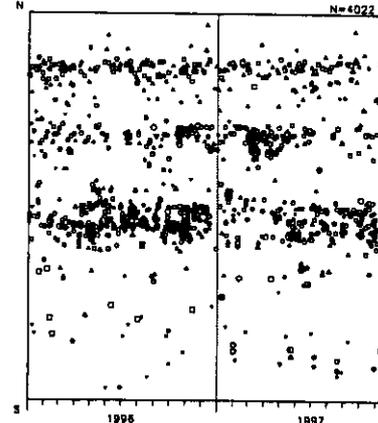
A領域
時空間分布



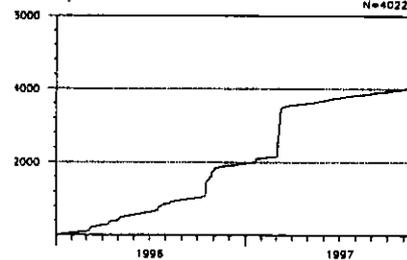
回数積算図



C領域
時空間分布図



回数積算図



第2図 東海地方のA,B,C領域における最近2年間の地震活動(1996年1月1日～1997年11月19日： $M \geq 2.0$ 以上，深さ60km以浅)。震央分布と各領域の時空間分布，および，地震回数積算図。

Fig.2 Seismic Activity in the A, B, C regions in the Tokai District during the period from January 1, 1996 through November 19, 1997 ($M \geq 2.0$, depth ≤ 60 km). Epicentral distribution space-time plot and cumulative number of earthquakes for each region.